

令和7年7月7日

一般社団法人宮城県経営者協会 会長 殿

宮城県高等学校長協会会長 樽野 幸義
(宮城県仙台第一高等学校長)

同 就職対策委員会代表幹事 根岸 一成
(宮城県塩釜高等学校長)

宮城県高等学校進路指導研究会会長 川村 高広
(宮城県泉松陵高等学校長)

令和8年3月新規高等学校及び特別支援学校卒業者の
適正な雇用確保について(お願い)

本県高等学校教育の推進につきまして、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和7年3月卒の新規高等学校卒業者の令和7年5月末時点の就職内定率は、99.7%と前年同期と同値となり、就職を希望し未就職となっている卒業生は9名と前年同期と同数でした(教育庁高校教育課調べ)。また、宮城労働局発表による、令和7年3月末の県内求人数は11,059件、就職内定率は99.9%と、統計が残る中で過去最高となり、企業様からの新規高等学校卒業生への御期待と多大なる御配慮をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、近年の新規高卒者の就職環境は各企業の御努力と各経済団体様や関係機関の多大なる御支援のおかげをもちまして、例年以上の実績を維持しております。特に今年度は、コロナ禍後の社会経済活動も活発化し、就職活動にも好影響が及んでいます。その一方で、価値多様化やグローバル化がますます加速し、高卒予定者に占める就職希望者数は年々減少する傾向にあります。

宮城県高等学校長協会といたしましては、将来の地域産業の重要な担い手となる人材の育成を図り、地域貢献という高い志を持った心身ともに健全で有為な人材の育成に努めなければならないとの思いをさらに強くしているところです。また、特別支援学校においては現場実習の多様な機会を増やし、技能習得を図りながら卒業後の安定的な雇用や適正な就労につなげていきたい所存です。各企業におかれましても障害のある高校生の雇用促進につきまして、これまで以上の御理解と御支援を賜りたく存じます。

つきましては、令和8年3月の新規高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者の雇用確保につきまして、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の今後ますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。